



育てたい生徒像

長崎明誠高等学校校長
吉田賢治



令和2年度がスタートして、早一ヶ月が過ぎようとしています。

昨年度末から新型コロナウイルス感染症で日本のみならず全世界が非常事態の対応を迫られ、ワクワクしない状態で、感染予防の対応だけで今日までできています。長崎でも、発症者が多数出ている状況になっており、コロナウイルスは人ごとじゃない。自分のこと、自分の家族のことだと思って対処しなければならぬ所までできています。今後の動向にも敏感になり、対応をしていかなければなりません。生徒、保護者、家族、教職員が協力して感染防止に努めなければなりません。まだまだ予断を許しません。

そのような中で、4月1日から新年度の学校生活が始まり、行事変更、集会の工夫など様々な対応をしながら日々活動していたところでしたが、国の緊急事態宣言を受け、4月21日から臨時休校に入っているところです。

今年度最初の職員会議で、①先生方が元気で明るくはないといけない②生徒の良いところを話題

にしよう」の2点をお願いしました。先生方が明るく健康であれば、必ず生徒もそうなり、学校も活気づいてくる。また、新しく迎えた先生方も、生徒の良いところを語り合える職員室にしよう。生徒のために「何が最善かという判断をし、生徒の取り組みに対し全力で支援していきたい」としようと先生方をお願いをしました。

それと同時に昨年度末の職員会議で、長崎明誠高校の生徒たちに何を身につけてほしいのか？どのようにならなっていくのかを考え、意見をを出していただき、長崎明誠高校での教育の指針が固まりました。ほとんどの先生方が考えていたのは、探求する生徒「思いやりのある生徒」「コミュニケーション力のある生徒」を育てようということでした。長崎明誠の生徒・保護者・教職員、そして関わりのある方々と共に、人間力のある生徒を育てたいと考えています。

今年度、147名の新入生が入学してきました。一人ひとりの顔には、新天地で「さあ、やるぞ」という気持ちが見えていました。入学式では長崎明誠でどのような生徒になってほしいのか、前述の3つの育てたい生徒像を踏まえて話をしました。

また、本校の校訓にある「自主、自律」の言葉のように、「自ら考え、自ら動く」ということを念頭に、新入生の日々の成長に期待しています。



現在、新型コロナウイルス感染症で、学校行事等が大幅な変更を強いられています。生徒皆さんの企画立案した行事等が実施できない苦しい現状です。

神は乗り越えられる試練しか与えない」とよく耳にしますが、あきらめなければ必ず目的を達成できる。入生を送っていく上でぶつかる苦難によって精神的に鍛えられる」ということを胸に秘め、生徒・教職員が一つになって知恵を出し合い工夫をし、この状況を克服していかなければならないと思っています。

最後になりましたが、生徒一人ひとりの夢が実現できる魅力ある学校づくりに、全教職員が一丸となって取り組んで参りますので、どうか一層のご理解とご協力をお願いいたします。

入学式・新入生研修

4月8日(水)、令和2年度入学式を行い、新入生代表の草村琉成さん(横尾中出身)をはじめ147名が新入生となりました。

また、4月13日(月)・14日(火)に新入生校内研修を実施しました。教頭先生による講話や学習の仕方についての説明、集団行動訓練や校歌練習などを通して、長崎明誠高校生としての心構えや生活行動の規範を身に付けました。さらに、クラスでの自己紹介やクラス目標設定などの活動を通して、クラスメイトや教師との親睦を深めることができました。研修の最後に行われた集団行動発表会では、男子は2組、女子は1組が、校歌コンクールでは1組が優勝しました。



よろしくお願ひします！

新着任者紹介

- | | |
|-------|--------------|
| 教頭 | 高島 敦子 (国語) |
| 事務長 | 中村 啓一 |
| 教諭 | 森内 修 (商業) |
| | 土橋 敬一 (理科) |
| | 小松 智実 (家庭) |
| | 川端 修 (地歴公民) |
| | 窪田 康彦 (英語) |
| | 本石 一夫 (地歴公民) |
| 講師 | 岳野 輝生 (数学) |
| 主任主事 | 田島 佐和子 |
| 図書館職員 | 松本 潤 |
| 非常勤講師 | 津田 朱美 (書道) |
| | 綾部 美佐 (音声表現) |



休校期間中、職員で除草作業を行いました。

5月の行事

- 11日(月) 代休日
- 13日(水) 内科検診(2年)
- 16日(土) PTA評議員会・3年保護者会
生徒自宅学習
- 20日(水) 内科検診(1年)
- 28日(木) 生徒総会



※変更となる可能性があります。